

中船俗ニ土舟鬼丸ト云

上口凡長四丈一、二尺、横九尺位

〔和漢船用集五舟名數江湖川船〕砂舟。諸國にあり、攝州にては、川々川浚の泥沙を積舟なり、是を又百艘と呼、

〔和漢船用集四舟名數海船〕材木船。紀州、土佐、日向、薩摩、其外北國の材木運送の舟、諸國所々にあり、木舟。諸國にあり、炭薪を積て來る者、日向、土佐の舟尤多し、

〔藻鹽草十七人事雜物并調度〕船くれ舟

〔倭名類聚抄十五造作具〕樽補各反、和名久禮、功程式有、檜樽、櫓樽、壁柱也、

〔和漢船用集五舟名數江湖川船〕くれ舟。同江。近湖中の舟、藻鹽草に出たり、あさづま山によめり、くれと云木を積舟の名なり、

〔山家集下題〕しらす

くれ舟よあさづま渡り今朝なよせそいぶきのたけに雪しまくなり

〔和漢船用集五舟名數江湖川船〕絞車船。此舟は攝州にて、海川諸舟をあげおろしするに、絞車を立てあげおろしする絞車屋仲間有て、此外自分にくるを用ことあたはず、舟をあげおろし所々に行に、絞車筋綱等の道具を積行の舟也、

〔農具便利論下〕壹挺立轆轤舟

長サ五尋。ロクロ臺、長サ五尺二寸、

横七尺七寸。人足四人掛

〔倭訓栞中編二十五〕みづぶね。水取舟の義、水傳馬ともいへり、